

ユーザについて

▶ 北洋でんさいサービスのユーザは、マスターユーザと一般ユーザの2種類存在します。

ユーザの種類	説明
マスターユーザ 	自分自身を含めたすべてのユーザを管理することができるユーザ
一般ユーザ 	マスターユーザによって管理され、業務権限が付与されたユーザ

▶ ユーザと取扱口座の関係について

ユーザの種類や業務にあわせて、お取扱いただける口座をユーザごとに設定できます。

お取扱いただける口座を設定することで、ユーザごとに可能な記録請求の制限や債権情報照会(開示)の制限等が行えます。

(例)

(マスターユーザ)

A、B支店のすべての口座について、記録請求と債権情報照会(開示)ができる

(承認者①)

A支店のすべての口座について、記録請求と債権情報照会(開示)ができる

(承認者②)

B支店のすべての口座について、記録請求と債権情報照会(開示)ができる

(担当者①)

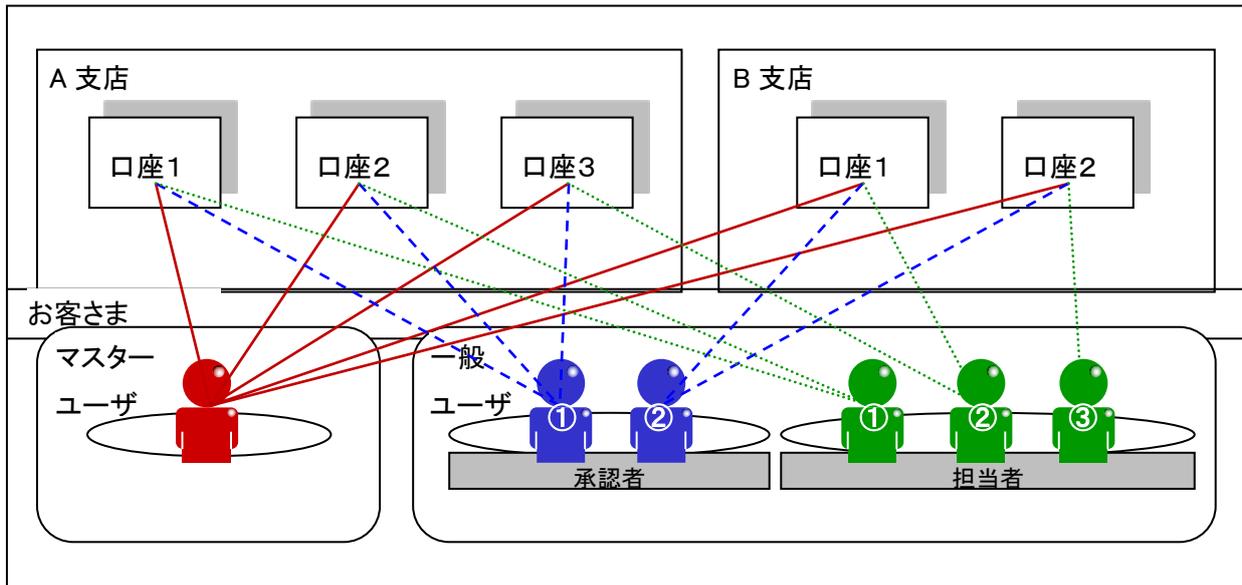
A支店の口座1、2についてのみ、記録請求と債権情報照会(開示)ができる

(担当者②)

A支店の口座3、B支店の口座1についてのみ、記録請求と債権情報照会(開示)ができる

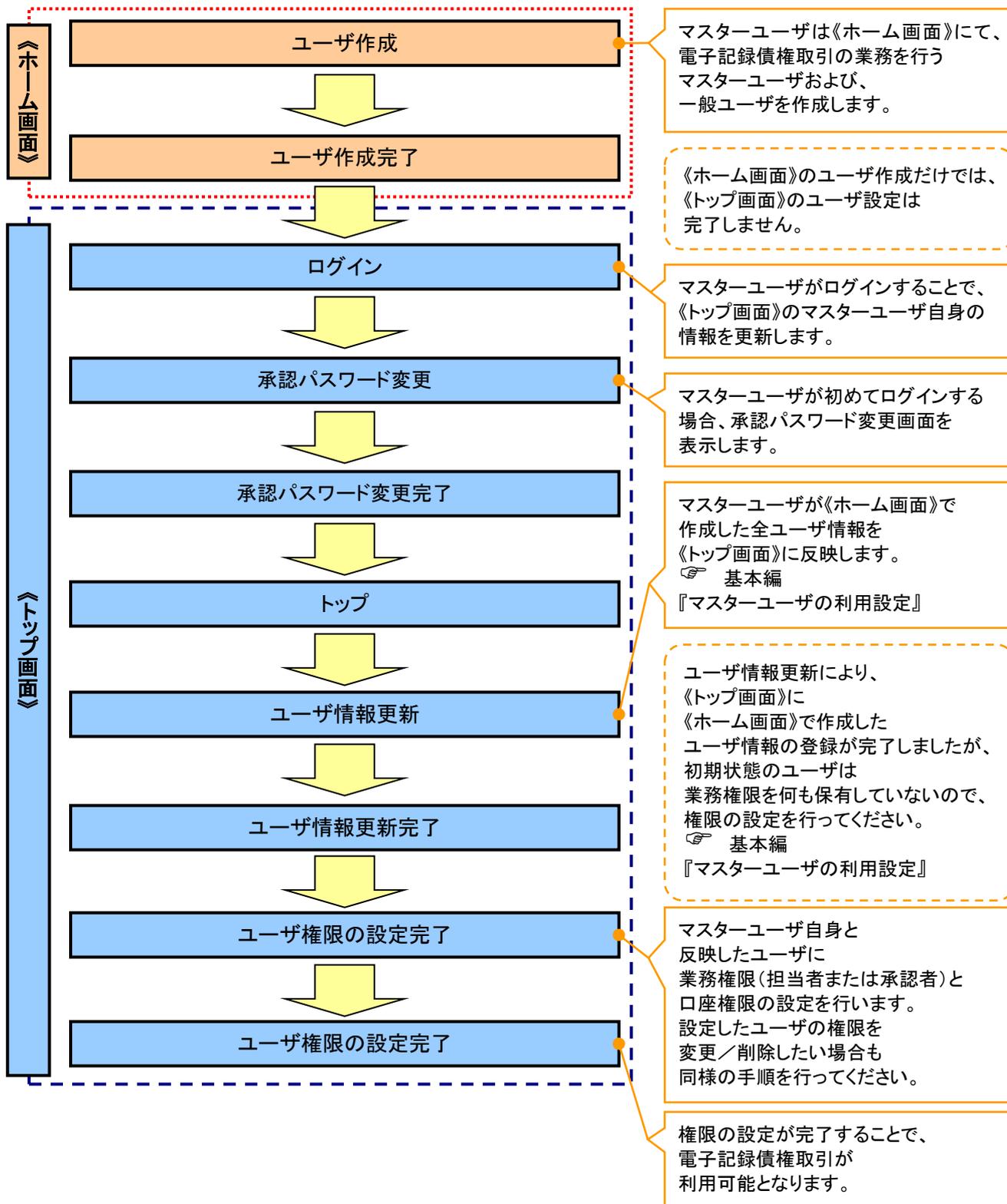
(担当者③)

B支店の口座2のみについてのみ、記録請求と債権情報照会(開示)ができる

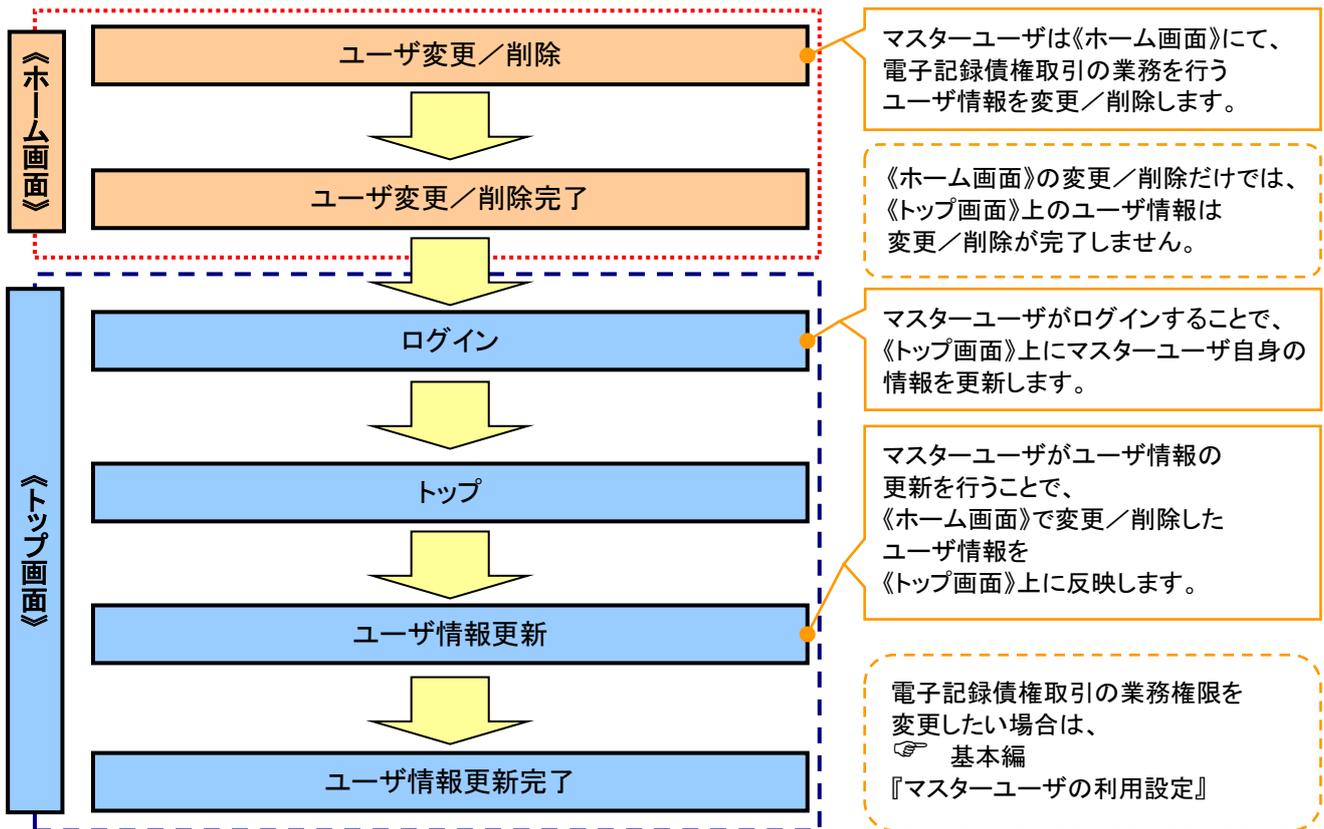


ユーザ設定の流れ

➤ マスターユーザが初回に行うユーザ設定する場合の流れ



▶ マスターユーザがユーザ情報を変更／削除設定する場合の流れ



▶ マスター、一般ユーザの実施可能取引について

マスターユーザが管理対象ユーザ(自分自身・他のマスターユーザ・一般ユーザ)に対して、《トップ画面》上で実施できる項目を示します。また、一般ユーザが実施できる項目を示します。

ユーザ種別	管理対象ユーザ	実施可能取引					
		ユーザ登録	ユーザ変更		ユーザ削除	ユーザ照会	承認パスワード変更(自分自身)
			ユーザ権限	承認パスワード初期化			
マスターユーザ	自分自身	○※1	○※3	×	×	○	○
	一般ユーザ	○※2	○※3	○	○※2	○	○
一般ユーザ	自分自身	×	×	×	×	○	○

① ご注意事項

※1 : ログインすることで、《トップ画面》上に自分自身の情報を登録します。

※2 : マスターユーザがユーザ情報の更新を行うことで、《トップ画面》上のユーザ情報を登録／削除します。

※3 : マスターユーザが持っていない権限でも、一般ユーザに持たせることができます。

▼ ユーザの初期状態

ユーザが初期状態で保有している利用可能な取引です。削除することはできません。

ユーザの種類	利用可能な取引
マスターユーザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザの変更／更新／照会 ・承認パスワード初期化 ・企業情報の変更
全ユーザ (マスターユーザ、一般ユーザ)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の承認パスワード変更 ・自分自身の操作履歴照会 ・取引先照会 ・通知情報照会 ・一括記録(結果一覧照会)^{※1} ・企業情報の照会

▼ 承認不要業務

担当者と承認者の区別がなく、承認の必要の無い取引です。

業務	利用可能な取引
利用者情報照会	利用者情報照会
取引先管理	<ul style="list-style-type: none"> 取引先管理(登録／変更／削除) 取引先管理(ファイル登録) 取引先グループ管理(登録／変更／削除)(所属変更)
取引履歴照会	取引履歴照会
操作履歴照会 ^{※2}	操作履歴照会
債権照会(開示)	<ul style="list-style-type: none"> 開示(およびダウンロード) 受取債権／入金予定／支払予定の確認
融資申込	融資申込照会 ^{※4※5}

▼ 承認対象業務

対象業務の担当者権限を保有した場合、その取引の仮登録を行うことができます。

対象業務の承認者権限を保有した場合、その取引の仮登録を承認することができます。

業務	利用可能な取引
記録請求	<ul style="list-style-type: none"> ・債権発生請求(債務者請求) ・債権発生請求(債権者請求) ・債権譲渡請求 ・分割記録請求 ・債権一括請求 ・変更記録請求 ・保証記録請求 ・支払等記録請求 ・取引先管理(登録／変更／削除)^{※3※5}
融資申込	<ul style="list-style-type: none"> ・割引申込 ・譲渡担保申込
指定許可管理	指定許可管理(登録／変更／解除)

▼ 担当者権限／承認者権限

担当者／承認者	説明
担当者権限	電子記録債権の取引を仮登録または差戻された取引を修正／削除する権限
承認者権限	担当者が行った仮登録を、承認／差戻しする権限

① ご注意事項

※1 :口座権限が必要となります。

※2 :自分自身の操作履歴照会の場合、権限は不要です。

※3 :記録請求権限が付与された場合、取引先管理も利用可能になります。

※4 :割引業務、譲渡担保業務のどちらかを保有していれば、利用可能になります。

※5 :担当者権限／承認者権限に関係なく、利用可能です。